

ちよぼら

みんなで楽しく気軽にちよっとずつのボランティア

vol.63

URL <http://www.tachi-shakyo.or.jp>



大刀洗中学校 美術部
聖ヨゼフ園へ作品を贈呈

令和5年12月14日(木)

みんながボランティア

11月11日(土) 大刀洗中学校の美術部がドリームまつりに来られたみなさんに参加してもらって一緒に作品を作りました。作品は、後日町内の障がい者施設「聖ヨゼフ園」にお渡しし、入所者の皆さんと雲を加えて絵が完成しました。

(2ページに関連記事あります)

01-フォトギャラリー

みんながボランティア

02-中学校美術部も・ドームまつり参加者も・施設も みんながボランティア

中学生の力! ドリームまつりを盛り上げました。

03-得意なこと・好きなことが ボランティアになる

動画作成グループ「ドリーム」が就労継続支援B型事業所「ブルースカイ」のPR動画を作成

04-ボラ連だより

- ・視察研修
- ・ほっこり井戸端サロン

中学校
美術部も

ドリームまつり
参加者も

みんなが ボランティア

施設も

ドリームまつりの活動を通して

ボランティアセンター運営委員長 永富 昌則

ボランティアセンターの令和5年度のドリームまつりは、自由な発想やアイデアを大切に楽しみながら参加できる「みんながボランティア」のテーマで参加することにしました。

そこで、大刀洗中学校の美術部に協力してもらい、みんなでアイデアを出し合い、誰でも簡単に参加できるようにスポンジや消しゴムハンコを作るなどの準備をし、来場者に少しずつ描いてもらう参加型の作品作りをすることにしました。原案は、「みんな同じ空の下でつながっている」という思いから『空と虹』に決めました。そして、ドリームまつりに当日来られない聖ヨゼフ園の方たちにもまつりの雰囲気味わってもらえたらと作品作りをすることにしました。



当日は、美術部員が熱心に声かけをし、子どもからお年寄りまで多くの方に参加してもらい素敵な作品ができあがりました。

12月14日医療福祉センター聖ヨゼフ園へ持参し入所者の皆さんと美術部員とが一緒に雲を貼り付けて最後の仕上げを行い、「みんながボランティア」が完成しました。

園内で利用者さんや職員が通る場所に飾っていただき皆が和やかな気持ちになり笑顔がこぼれているそうです。

また、この活動を通して中学生の成長を感じることができました。参加ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。



中学生の力！ドリームまつりを盛り上げました。

ボランティア団体や当事者団体のイベントにボランティアとして参加。積極的にイベントをサポートし、まつりに来られた地域みなさんと笑顔で交流しました。



得意なこと・好きなことがボランティアになる

動画作成グループ「ドリーム」が

就労継続支援B型事業所「ブルースカイ」のPR動画作成

1 「ブルースカイ」との出会い



ドリームの高倉さん

ブルースカイ代表・田原さん

おいしそうなお菓子だね。
どこで作っど〜と?

「ブルースカイ」で
作っています。

2 「ブルースカイ」代表・田原さんとの話



ドリームの田島さん

もっとPRせんと
いかんばい!

お菓子のPR動画を
作りましょう。

えっ、本当に作って
もらえるんですか?
ぜひお願いします。

3 早速撮影だ!



お菓子のサクサク感が伝わ
るように撮影しなきゃ!

種類もたくさんあるし配
列にも気配りしてね!

4 もう一つの願い!



「ブルースカイ」の紹介動
画も作りましょう。

「ブルースカイ」の紹介と利用
者さんががんばっている姿を
見ていただけるような動画を作
ってほしいんですが。

5 「ブルースカイ」の日常を取材



「ブルースカイ」では、お
菓子作りだけでなく部品の
加工やタオルの袋詰め
作業もしています。

6

動画が完成しました

地域には、支え合い協力し合って地道な活動
をしている方がおられることを知りました。
私たちは、このような皆さんの活動を映像に
して広くPRしていきたいと思っています。



動画作成グループ「ドリーム」



お菓子のPR動画は店頭販売の時に流し
ています。
「ブルースカイ」紹介動画は左のQRコ
ードから見てください。

ボラ連だより



レストランゆずのきに行ってきました。

ボラ連
視察研修

10月13日、福岡市西区の就労継続支援A型事業所『レストランゆずのき』に行きました。白谷理事長より、「障がいのある方の働く場、レストランゆずのきについて」お話を伺いました。地域の方が《食べるボランティア》として足を運んで下さっていることや、働いている方々が生き生きとしている姿を見て、地域に根付いているなど感じました。また、オープン時より働いている方が多数おられ、いかに働きやすい職場であるか、そういう場を作るために職員の方々がしっかり取り組んでいることがよく分かりました。

白谷理事長の、「彼らは“ヒーロー”であり“小さな職人”です。地域の人たちのために貢献しているという意識があるから長く働くことができる」と胸を張って言われる姿に、障がい者への向き合い方やその思いを知ることができました。

ボランティア連絡協議会の

ほっこり

誰でも・気軽に

井戸端サロン

テーマ 「障がいのある人の就労について」

ゲスト 障がい者就業・生活支援センター ちくぜん

センター長・主任就業支援ワーカー 西依 まゆみ さん



1月27日のほっこり井戸端サロンは、障がいのある方たちの就労についてお話しをお聞きしました。「障がい者就業・生活支援センターちくぜん」は、その名の通り障がい者の就労全般について、また、生活支援、そして人材を求める企業との橋渡しを福祉の観点からおこなっています。障がい者の得意不得意、性格や特性を把握して一人ひとりに合った仕事を紹介しています。また、就労後も安心して継続できるようにフォローしたり困ったときの相談に乗ったりしています。その中で大切にしていることは、「本人の意思を尊重すること」だそうです。参加者からは「支援学校を卒業した後の受け皿的なものがあれば安心できる」との意見がありました。

私たち一人ひとりが「知って理解を深め、認め合う」ことが第一歩だと思います。

全ての人が住みやすい世の中になることを願って少しずつ努力していきましょう。

今年度の活動を振り返って

ボランティア連絡協議会 会長 福村 千代美

今年度は、障がい者の就労についていろいろ学んで来ました。

ほっこり井戸端サロンでは、大刀洗町のB型事業所「ブルースカイ」よりお話を聞き、視察研修では福岡市のA型事業所「レストランゆずのき」に行きました。ほっこり井戸端サロン2回目では、障がいのある方の就労について専門職の方からお話をお聞きしました。

障がいを持った方が生き生きと働く姿を目の当たりにして、環境と周りの理解で障がい者が自分の可能性を大きく発揮できることを知りました。共生社会の実現が少しずつ進んでいることを感じました。

春

編集後記

桜のつぼみもほころぶ季節、気持ちも少し上向き気味ですが、1月の大地震でまだまだ不安と絶望の中に生活されている能登の皆さんにとって、春が1日も早く訪れることを祈っています。春よ来い！早く来い！

スマイル



代表 福村 宮 生
福村 千代美
田 畠 孝 三
宮 崎 誠

発行日：2024年3月8日